

第5回白石東地区「雪あかりのまち」

白石東地区まちづくり協議会が主催した第5回アイスキャンドル（みんなのあったかい気持ちが灯る☆☆雪明りのまち）というイベントが、平成28年1月29日に開催されました。

北東白石地区では、地域活性化委員会が中心となって平和駅北口を基点に13条通りをメインにアイスキャンドルを飾りました。

今年度も、同時開催のところからJR平和駅南口乗降口前に階段状のステージを作り、白石東まちづくりセンター金谷所長をはじめ、大谷地第一町内会、柏町内会の役員の協力により実施いたしました。

今年は、雪不足に加え、除雪が進み予定した雪山ができず、スノーダンプで雪を集め何とか開催にこぎつけました。

柏山通終点にある平和駅の横に積み上げた雪山を利用し、キャンドルを配置したり、ピラミット上に重ねたり、平和駅入り口横とバス回転路の横にも2段のキャンドルを重ね、作成しました。

キャンドルの間に雪だるまを4基配置して工夫をしたり、寒さで涙目になった雪だるまの顔を見て大笑い、微笑ましいところも見られました。

幻想的なオレンジ色の灯火、キャンドルを背景に幼児をパチリと写したり、東日本大震災の鎮魂ですかと尋ねられたり、親子で記念写真をとったり、ほのぼのとした姿も見られました。

見学者よりキャンドルの作成方法を聞かれたり、少しづつでも広がりを見せることを期待しつつ説明をしておりました。

小学生より、一緒にキャンドルをともしたりして思い出作りができたようです。

平和駅入り口横では、甘酒やホットコーヒーのコーナーを配置し、地域の方々が見学者にすすめていました。

寒い中、携わっていただいた役員の皆さん、ありがとうございました。（長井）



つなげよう～雪あかりの灯

栄通18丁目町内会でも、大谷地第1および柏町内会のご協力を経て、今年のごく一部ですが“つなごう～雪あかり～”を実施いたしました。恒例の行事になるよう頑張ってください。（石山）



取材スタッフ 市橋〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・中村〔まち協〕・田森〔まち協〕・福田〔まち協〕・横野〔まち協〕
・石山〔まち協〕・長井〔体振〕・東海林〔青少年育成〕・鈴木〔青少年育成〕・奥山〔青少年育成〕

お問い合わせ 「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694 (休館: 土・日・祝日)

スタッフ
募集中!

第34号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!



雪であそぼう！ at 大谷地小学校

平成27年度白石東地区まちづくり協議会主催の世代交流プロジェクト事業「雪であそぼう！ at 大谷地小学校」が、1月13日(水)に大谷地小学校のグラウンドで開催されました。

今年は暖冬少雪の予報通り雪が少なく、予定通り開催できるかどうかヒヤヒヤさせられました。昨年も雪が少なく、直前に降った雪で何とか実施できましたので、今年も、と期待したところでしたが、直前の週末(9～11日)には降雪があるという天気予報も見事に外れ、前々日の12日にも降雪はなく、予定変更せざるをえない状態に陥りました。

「迷路」と「坂すべり」のコーナーは中止し、区役所から借用できる「スノーフラッグ」というゲームのコーナーを取り入れ、各町内会・各種団体のコーナー担当を一部変更して実施することとしました。

前日の会場設営は、「迷路」や「坂すべり」のコーナーがない分短時間で終わりましたが、「ボールコロコロ」のコーナー作りは雪が少ない分大変で、除雪機の応援を得ながら全員で雪積みをしました。

当日は天候に恵まれ、真冬の寒い中ではありましたが、親子や子ども、さらに保育園児等が続き遊びに来てくれました。遊びのコーナーは、「汽車ごっこ」「ボールコロコロ」「まとあて」「雪色あそび」「雪中かるた」「雪中サッカー」「雪中相撲」「スノーフラッグ」があり、子どもたちはまずお目当てのコーナーで遊んでからいろいろなコーナーをまわり、歓声をあげながら時間いっぱい楽しんでいました。最後は、全員でアンパンマン体操をして、宝探しをしました。大きなたらいの雪の中に埋まっている宝めがけて、足場の悪い中を突進し宝を見つけて満面の笑みを浮かべていました。

おかげさまで参加者は442名を数え、たくさんの親子、保育園児、小学生の子どもたちで賑わい、これまでで2番目に多い参加者数となりました。スタッフを含めると524名で500名を超えるスタッフ・参加者は4年ぶりのことでした。

雪不足で心配された事業でしたが、まちづくり協議会に加盟している各種団体のスタッフの皆さん、そして白石東中学校野球部21名のボランティアの皆さん、さらに、参加募集のポスターとチラシのデザインをしてくださった札幌商工会議所附属専門学校の学生の皆さん、会場案内ポスターを作成してくださった白石東中学校生徒の「職業体験学習」の皆さん等々、多くの皆さんのお陰で、今年度も楽しく終えることができました。（鈴木）



鉄砲隊

「古式鉄砲研究会・さっぽろ白石片倉鉄砲隊」について、ご紹介をさせていただきます。白石区は明治に戊辰戦争で敗れた白石市の片倉家家臣が札幌の白石に入植して開拓が進んだ土地であります。その地縁をもって白石区のふるさと会が現在も宮城県白石市に伝わる仙台藩の白石城主であった片倉小十郎率いる火縄銃鉄砲隊と縁を結び、地域の町興しとして、この白石区の地にも「さっぽろ白石片倉鉄砲隊」を結成させたいとの思いで、白石区ふるさと会会長武藤征一氏と相談して始めさせていただきました。

平成 24 年 5 月 3 日に板垣が宮城県白石市に尋ね、片倉鉄砲隊に入隊し、砲術の基礎や心得そして約 20 キロの甲冑を着て、15 キロの火縄銃を構え、空砲を撃つ等演武の手ほどきを受けてまいりました。その結果、白石区民の毎年の恒例行事になっています白石区役所駐車場での平成 27 年 7 月 19 日白石区ふるさと祭りの会場にて、白石市の鉄砲隊と伴にご披露させていただきました。

現在片倉家は、第 16 代当主片倉重信公が引き継いでおられます。その当主片倉重信公から平成 25 年 8 月 10 日「片倉家に継承されてきた古式鉄砲につき、さっぽろ白石片倉鉄砲隊を設立し、その名称使用および名誉会長に就任することを承認します」旨の承認書を戴いております。更に、片倉家黒鐘(釣り鐘)及び片倉家九曜紋の使用についても許可を戴いたところでもあります。

ここに掲載の写真は、私が平成 25 年 5 月 3 日白石市の春まつりに白石城にて大勢の観客の前で火縄銃の演舞をしたものを仙台の新聞、河北新報に掲載されたものであります。火蓋の点火のところと銃口から火柱が走っているところが良く見てとれるかと思います。(板垣)



スポーツアラルト

白石東地区町内会連合会及び白石東地区体育スポーツ振興会主催の室内スポーツ大会の結果について報告いたします。

第 24 回白石東地区室内スポレク大会が、平成 28 年 1 月 24 日に大谷地小学校体育館で開催されました。実施種目は、ミニバレーとテニポンの 2 種目を実施いたしました。

ミニバレーには、少年野球の大谷地ヤングタックスの父母で構成した 3 チームと大谷地小学校で活動している学校開放チームの 4 チームによるリーグ戦で実施いたしました。番外戦として父母最強チームを即席で編成し、学校開放チームとの一戦もあり、経験の乏しいなか、変化の大きいボールを追いかけ、和気藹々のなかでゲームを楽しんでいました。

テニポンでは、12 名の参加で、ペアを変えながらゲームを進めていました。この大会の結果をもとに、平成 28 年 2 月 28 日に開催されます第 25 回白石区民室内スポレク大会〔白石区体育館〕に地区代表として参加いたします。

白石東地区より、ミニバレーに 2 チーム、テニポンに 6 チームがエントリーしております。

出場選手の活動を期待するとともに、怪我なく、楽しく、他地区の皆さんと交流を深めていただくことを願っています。

白石東地区では、春のマラソン大会、春秋 2 回開催しているグランドゴルフを楽しむ会、夏の少年野球大会、卓球大会、冬の室内スポレク大会を開催しております。

また、白石区では、9 月には区民ふれあい健康マラソン大会、11 月には区民卓球大会、2 月に室内スポレク大会が開催されております。

平成 28 年度も各種スポーツ大会を開催する予定でありますので、より多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。(長井)



生活道路 今と昔

冬が近づくと色々な事が思い出されます。

30~40 年位前は町内のあちこちで排雪状態が悪く、まだ 4 輪駆動車もなく、2~3 月頃になると雪道がザクザクになり車が埋まってしまう光景がよく見られました。宅配車、郵便屋さんは大変だったと思います。そんな時、隣近所の人たちが出てお互いに車を押し出して助け合ったことが懐かしく思います。

町内会では 2~3 月頃になると排雪専門業者に排雪を委託しましたが、歩行者の安全を誘導する作業員も居らず、町内の方々の排雪作業中の歩行者の安全誘導作業を行いました。未経験者の為大変危険な思いをしました。15~16 年前に「札幌パートナーシップ排雪」を知り早速説明会に出席し、すぐに利用することに決めました。これによって危険な作業も解消されました。

また、町内のサイクリングロード(白石こころ一ど)に面した町内の道路に大型車・小型乗用車等、一日中駐車する車がありました。その道路は「大谷地小学校児童の指定通学区域」なので、登下校の際、低学年の子供達の姿が車の陰で見えなくなるため、とても不安に感じておりました。そこで町内が一丸となり、朝夕何年もの歳月をかけて車の持ち主の方々に直接理由を説明し、理解していただき、今では写真のように駐車する車は一台もなく、子どもたちが安心して登下校できる町内になりました。このことにより安心して住みやすい町内となりました。(横野)



《はてな?》

テニポンとは・・・

テニポンとは、テニス+ピンポンの造語です。

1983 年に北海道の様似町が「生涯スポーツの町」を宣言したことから新スポーツを考案、1987 年に誕生しました。

コートは通常のバドミントンコートを使用し、ネットもバドミントンのものを使用しますが、高さは 75cm と低めです。

テニポンのラケットは様似町で開発された木製のもの。



栄通 19・20 丁目町内会 創立40周年記念祝賀会

平成 27 年 11 月 29 日（日）午後 3 時よりホテル札幌フローラにて、栄通 19・20 丁目町内会創立 40 周年記念祝賀会を開催いたしました。来賓として白石東地区町内会連合会長板垣俊夫会長を始め、隣接する三町内会長 3 氏を含めた総勢 52 名の皆様にご参列いただきました。

祝賀会の中、来賓のご紹介と役員歴 30 年以上の 3 名、同じく 20 年以上の 2 名の方々に、永年勤続役員の感謝状が贈呈されました。

余興としては日本舞踊・フラダンス・国際大学チアガール・腹話術・ギター演奏等の盛沢山のイベントで、会場内が大変盛りあがるなか盛会裡に無事終了いたしました。

同町内会は「心かよう手づくりのまち」をモットーとして、安心・安全・住みよい町内会を目指して次の年に向けて役員一同、力を集結して努力してまいります。（中村）

会長のお言葉の中に、「10 年に満たない身でありながら、地域や町内に貢献されてきた方々に感謝状を通し、お礼と感謝の意を伝えられた事に喜びを感じました」とお聞きし、同じく 40 年を迎えた町内会として、その 40 年の重みを感じ心が熱くなりました。（市橋）



子どもかるた大会

今回で 24 回を迎える「子どもかるた会」が、平成 28 年 1 月 23 日（土）に白石東会館にて青少年育成委員会の主催で、57 名の子どもたちが参加して行われました。近年の参加者減少傾向の中、お正月の遊びのひとつであり、また日本古来の伝統でもある百人一首を少しでも広めるため、多くの子どもたちが参加しやすい方法を検討しました。前回から、申し込みの段階でかるた取りのレベルを自己申告（どのくらい取れるか）という方法にして、そのレベルに合わせ、くじ引きでチームを決め、午前中は練習、そして午後から試合形式という形を採用しています。

初めての人同士のチームもありましたが、そこは子ども同士、すぐにうちとけ一生懸命札を取ったり、時には札を間違ったり、お互いに教え合ったりしていつの間にか和気あいあいと笑顔になっていたのが印象的でした。

昼食には育成委員手作りのお雑煮とおしるこを「美味しい」とおかわりして食べていました。

今回は同時に「いろはかるた」の試合も試みましたが、今後はさらに子どもたちにとってよりよい「かるた会」にしていきたいと考えております。

また、ご来賓として出席していただいた町内会長の皆様をはじめ、育成委員 OB の方々、その他様々な方々のご協力をいただき、何とか無事に終えることが出来たことに感謝申し上げます。（奥山）



違法駐車等防止合同パトロール

白石区交通安全運動推進委員会違法駐車等防止対策部会の目的は、白石区内における違法駐車等防止について、地域住民、関係団体並びに関係機関が一体となり、その対策を協議するとともに違法路上駐車の一掃を図り、もって区民の安全で快適な交通環境の形成に資することです。

この目的を達成する為の活動には、違法駐車等防止のための調査・企画、根絶のための広報活動、地域内の啓発活動などがあります。また、この活動部会は白石区内各町内会連合会交通部長、地域交通安全活動推進委員協議会、白石警察署、白石区市民部総務企画課、白石区土木部維持管理課、白石区交通安全運動推進委員会事務局長などによって構成されております。

今回は推進会広報車を先頭にパトカー、土木部車両の 3 台によって広報活動の巡回をしました。

1 回目は 1 月 19 日午後 2 時に白石東まちづくりセンター前を出発、重点地域の白石東町連及び地元町内会地域をパトロール。巡回路は栄自治会、下白石町内会、栄通 17 丁目町内会、栄通 18 丁目町内会、栄通 19・20 丁目町内会、みつば町内会までを巡回し、違法駐車 2 台にステッカーを添付するとともに啓発活動を実施しました。なお、ステッカーの添付活動はトラブルの防止を図る上から車両には貼らず、ワイパーアームと車両ガラスの隙間に挟むようにしました。当日は、推進会広報車 1 台、土木部車両 1 台、パトカー 1 台に町内会役員がそれぞれ便乗し、合同巡回パトロールを 19 名の参加者によって実施することができました。



2 回目は 2 月 18 日午後 2 時に白石東まちづくりセンター前を出発、重点地域の白石東町連及び地元町内会の地域をパトロールしました。巡回路は東白石町内会、白樺自治会、下白石町内会、南郷みそら町内会、大谷地第二町内会を巡回しましたが、違法駐車は 4 台で、これらにステッカーを添付し、同時に啓発活動を実施しました。推進会広報車 1 台、パトカー 1 台、土木部車両 1 台の各車両に町内会役員が便乗、今回の合同パトロールには 11 名の参加者がありました。（福田）



ご存知でしょうか～？ “道路標識”

	車両進入禁止	自転車通行止め	駐車禁止	車両通行止め
マーク				
正解率	84.7%	86.6%	46.0%	32.2%